

群馬県都市緑化祭
ふるさとキラキラフェスティバル
花と緑のぐんまづくり
2014 in 沼田

開催テーマは歴史と文化に市民の手で花をそえよう。平成26年4月19日(土)から5月18日(日)の30日間で開催されました。当協会では中毛支部の赤城グリーン・前橋園芸・高橋造園土木の3社にてメイン会場である中心市街地会場で作品を作り展示しました。コンセプトは「森の熊さん」～花咲く森の道～クマさんが入口でお出迎え。

お花のアーチをくぐると木々やお花に囲まれてクマさんのお友達ともこんにちは。中心になった樹木は、熊と鹿のかたちをした2体のトピアリーです。大きさは、1.5m～1.8mです。その周辺にマーガレットなど20数種類の季節の花を植付けたリガビオンという蛇籠風の入れ物に立体的に花を飾った大変華やかな作品になりました。沼田の商店街の皆様や見学の方々も、思わず目を細め喜んで頂けたらと思っております。

(株)高橋造園土木・高橋 副二



ホリデーインまえばし

8月25日の夏休み最後の日曜日「親子の絆」「自然とのふれあい」「夏休みの思い出づくり」等を目的としたホリデーインまえばしが敷島公園にて開催されました。毎年参加しているイベントですが、今回は40回記念と好天に恵まれ、例年以上に会場が賑わいました。青年部担当ブースでの竹馬づくり体験も大盛況につき200組(午前・午後各100組)はすべて終了し、体験した子供達は非常に喜んでいました。造園に関係のある竹を使った出展とい

うことで業界のPRもでき、さらに今回は日本造園組合連合会の3名にも参加協力していただき「棕櫚バッタ」を目の前で作って職人の器用さもアピールできました。

また、群造協青年部はホリデーインまえばし実行委員会にも以前から非常に協力的な対応をしている為、参加団体の方々にも高い評価を得ています。このようなことから業界全体の信頼にも繋がったと考えております。

(昭和造園土木(株)・石橋 修一)



関東甲信造園建設業協会
協議会

9月19日に関東甲信造園建設業協会協議会が品川で開催されました。

今回のテーマは『校庭・園庭の芝生化』で長野県、東京都、神奈川県より発表がありました。『芝生化』は子供達の成長に重要なアイテムと理解されていますが、初期投資及び維持管理に対する強い負担感があり大きな課題となっています。それらを打開するための様々な取組を具体的に説明して頂きました。

現地視察の『海の森資源化センター』は東京23区内の公園、街路樹等の公共事業から発生する剪定枝葉を受け入れ、破碎し、堆肥化して都湾岸所管の『海の森公園』の造成用に供給する施設で、同センター長の案内で堆肥の製造工程を見学させて頂きました。

『海の森公園』は東京湾に浮かぶ、ゴミと建設発生土の埋め立て地で、先述の堆肥を植栽基盤として用い平成28年完成に向け整備中です。通常は立ち入りを禁止されている植栽前の山(海拔30m)に登りました。景観の素晴らしさ独特であり、東京オリンピックでは、クロスカントリーコースとして馬術の会場となる計画があるそうです。(カネコ種苗(株)・山本 直)

安全衛生大会

「平成26年度造園建設業務安全衛生大会」が9月26日(金)に群馬県造園建設業会館に於いて当協会主催により開催されました。

例年同様、来賓として群馬労働局長、群馬県県土整備部都市計画課長、建設業労働災害防止協会群馬県支部長をお招きしました。今年は群馬県内の建設業における労働災害が多く、死傷者数も増加傾向にあり、深刻な状況であることを認識してもらいたいとのご挨拶を頂きました。

安全衛生講話では、吉田コンサルタント事務所の吉田恵洋所長より「建設労働災害防止について」災害発生データや労働災害事例を基に、「災害ゼロ」を達成するための指針を提示して頂きました。また、防災講話では、群馬県総務部危機管理室の糸井祐貴氏より「ぐんまの防災について」地震・台風・噴火・土砂災害が発生した時の心構えや行動と日頃の備えの大切さを教えて頂きました。

最後に「安全宣言」で大会を終えました。(株)富士造園・北爪 満

みどりの清掃 in 中之条

第20回緑の清掃活動「花と緑のぐんまづくり2015イン中之条」が10月25日(土)に中之条町で行われました。

毎年恒例となっている清掃活動ですが今年もたくさんの会員関係者の方に参加をいただきました。当日は天候にも恵まれ山々に囲まれた素晴らしい環境のもと中之条の街中を清掃いたしました。開催にあたり県関係者と中之条町の担当職員にも様々にご協力をいただきましたお蔭で無事に開催をすることができました。誠に有難うございました。

この事業が継続して遂行できるのも会員皆様のご協力はもとより外部で調整していただいている方の協力があったことだと考えます。今後も協会会員のみならず様々な人・団体・地域と

手を携えて活動をしていくことが重要であるところの事業を通じて改めて実感いたしました。大変有難うございました。（株）しみづ農園・清水 大助



勢多農林高校 インターンシップ受入



本年度も勢多農林高等学校からの依頼で、7月と11月の各3日間、生徒を受け入れました。

今年は、緑地土木科の1年生が3名実習にきましたが、私の迫力に押しされ一生懸命に作業をしていました。張り切り過ぎて7月の実習では熱中症を起さないか心配でしたが、体調不良にもならず無事実習を終えることができました。11月も同じ生徒が実習にきましたが、その時はグリーンレンタルの仕事を実習してもらいました。造園とは少し異なった作業だったと思いますが、事故・怪我もなく無事に終えることができました。

インターンシップという短期間で、生徒達へ何を経験させてやるのが良いのか考えましたが、技術を身に付けさせるには時間が足りません。現場におけるチームプレー、お客様との接し方など、実際の現場での作業は学生達にとっては貴重な経験だったと思います。少子高齢化に伴い、造園業界も技術者の確保が困難になっていくと思われませんが、インターンシップのような経験を基に、この業界の発展と技術の伝承のためにも職業として就いてもらいたいと思います。

（赤城グリーン(株)・荻原 健）



平成26年 表彰

5月12日
群馬県総合表彰
萩原造園土木株式会社
代表取締役
萩原 信行

10月10日
**優秀施工者
国土交通大臣顕彰**
有限会社君島造園
代表取締役
君島 静次

11月21日
**群馬県
優秀技能者表彰**
株式会社山田植物園
代表取締役
山田 進

5月4日(日)「緑の日」にちなんで「みどりの集い」が東毛の地、邑楽郡邑楽町の群馬県緑化センターで開催されました。

当日は、天候に恵まれゴールデンウィークの中の日曜日にもかかわらず、大変な人出で、色々な団体が協賛・出展協力しにぎやかに開催されました。

当協会（東毛支部会員）も無料配布で配られた苗木の植え方教室やみどりの相談窓口、また、毎年恒例の子供達対象の金魚すくいなどでは、すくった金魚を入れた袋を両手いっぱい持ち満面の笑みがこぼれていました。

上記の協会活動をとおして「地域住民との親交」が深められたと思います。

（丸桑造園(株) 大澤 善昭）

5/4 (日) みどりの集い

